

「#ステイコネクテッド」 アウトドアでクマと正しく付き合うための6つの原則

1. 出かける前に、そのフィールドを知る



目的地にクマの出没情報がないか、自治体や管理者の情報を事前に確認し、リスクが高い場合は計画の変更を検討しましょう。

2. あなたの存在をクマに知らせる



熊鈴、ホイッスル、手拍子などで音を出し、見通しの悪い場所や活動が活発は朝夕に自分の存在を知らせて、不意の遭遇を防ぎます。

3. 絶対に、人間の食べ物の味を学習させない



ゴミや食べ残しは必ず持ち帰り、クマが人間と食べ物を結びつけないようにします。野営時はフードストッカーの利用も有効です。

4. 遠くで見つけたら、静かに立ち去る



撮影のために近づくのは厳禁です。子グマの近くには必ず母グマがいるため、刺激しないよう静かにその場を離れましょう。

5. 近くで遭遇したら、走らない・背を向けない



逃げるものを追う本能を刺激しないよう、落ち着いて声を出して人間だと知らせ、目を話さずにゆっくりと後退りして距離をとります。

6. 万が一の攻撃に備え、防御手段を身につける



撃退スプレーを顔に向けて噴射するか、避けられない場合はうつ伏せになり、首の後ろを手で守り、リュックを盾にする「防御姿勢」をとります。